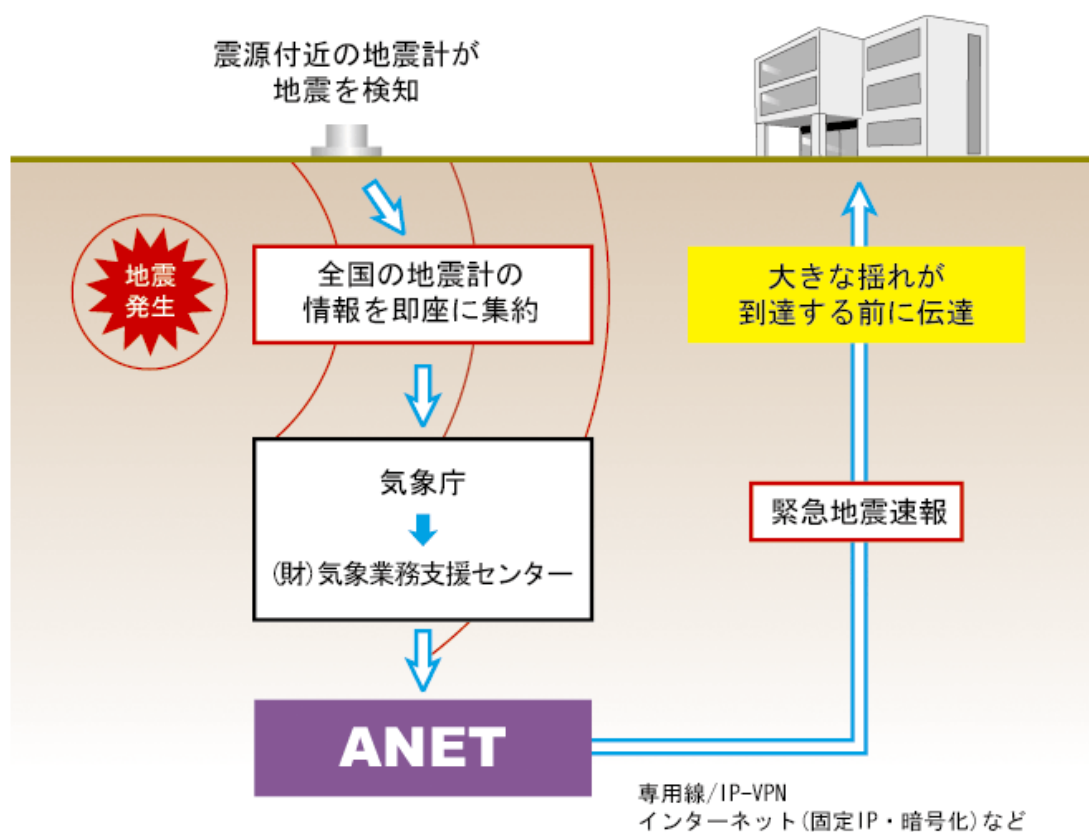


緊急地震速報とは

地震には、伝播速度は速いが揺れは小さい“P波”(いわゆる初期微動)と、伝播速度は遅いが大きな揺れを伴う“S波”(主要動)があります。大きな被害をもたらすのはS波であり、その到着時間を予測、配信して防災に役立てるのが緊急地震速報です。

気象庁は、全国に設置された専用地震計によって、P波を検知し、瞬時に規模(マグニチュード)・震源を算出し、S波が来る前に「どこがどれくらい揺れるか」という緊急地震速報を配信しており、2007年10月1日からは、一般利用者向けの配信も行われています。



緊急地震速報は、地震が発生してから少ない観測データでの推定情報であるため、震源に近い場所では大きな揺れ(S波)が来る前に間に合わなかったり、予測震度に誤差があるなどの技術的な限界もあります。